

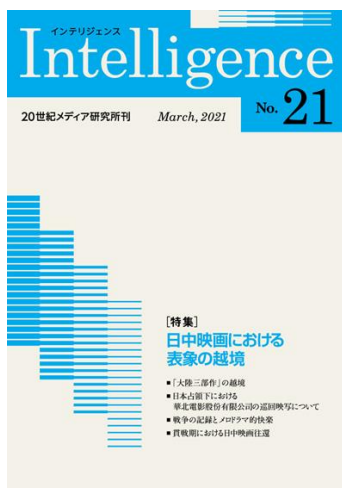


21~24号 待望の電子化



Intelligence

インテリジェンス



B5版 208頁 2021年3月
ISBN978-4-89253-645-8



B5版 196頁 2022年3月
ISBN978-4-89253-650-2



B5版 178頁 2023年3月
ISBN978-4-89253-653-3



B5版 202頁 2024年3月
ISBN978-4-89253-657-1

～本邦唯一のインテリジェンス研究専門誌～

雑誌「Intelligence」は本邦唯一のインテリジェンス・諜報・プロパガンダ・検閲に関する専門誌です。2002年に創刊した年刊誌であり、対象領域は広く、近現代における情報を中心とした政治史、社会史、広報、通信、メディア、思想、検閲、放送、映画、文芸等にわたります。20世紀メディア研究所が活動母体となっており、その研究会はほぼ毎月開催されています。

【第三期】 特集

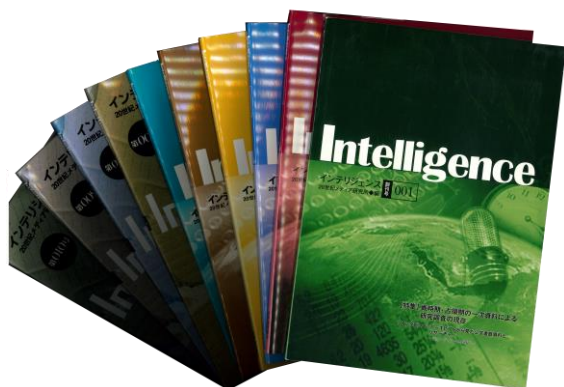
第21号(2021)特集:日中映画における表象の越境／戦後メディア空間の創造

第22号(2022)特集:アカデミックリソースとしてのアーカイブの現在／アジアにおける映像と戦争の記憶

第23号(2023)特集:大正・昭和初期における広報と宣伝／戦時日本人のメディア文化

第24号(2024)特集:南博を読み直す／「スプートニク・ショック」事件報道／アジアのインテリジェンス

4冊 揃価格 同時1アクセス(本体)¥28,160



【第一期】1～10号は古書として
文生書院に在庫しています。
ご照会ください。

【第一期2002年～2010年】特集

- 第1号: 戦時期・占領期の一次資料による研究調査の現在
- 第2号: 通信と暗号の情報戦
- 第3号: 占領期研究の成果とプランゲ文庫
- 第4号: 東アジアのメディアとプロパガンダ
- 第5号: 中国・台湾のメディアと広告
- 第6号: 現行憲法への新しい視点と分析
- 第7号: 鶴見俊輔と占領期雑誌ジャーナリズム
- 第8号: 占領期の検閲と文学 / 満州における文化メディアと統治
- 第9号: 対ソ・対ロインテリジェンス活動
- 第10号: 戦争と文化財・資料 - その略奪と行方



【第二期】11～20号は、冊子版のみとなります。
ご了承ください。

【第二期2011年～2020年】特集

- 第11号: 日米情報戦の深層 / 占領期の言説
- 第12号: プランゲ文庫研究の10年 / 危機のインテリジェンス
- 第13号: 日米広報外交とアジアの情報戦 / 占領期メディア再考
- 第14号: 日本と東アジアの検閲史再考
/ 占領後日本と冷戦期米国の文化的諸相
- 第15号: 冷戦初期のインテリジェンスと情報政策
/ 占領期の文化研究の新局面
- 第16号: 占領軍のインテリジェンス / プロパガンダの戦中と「戦後」
- 第17号: 福島鏗郎コレクションと占領期雑誌
/ 新資料による陸軍中野学校研究
- 第18号: 《貫戦期》の日中映画 / ソビエト期の表象と検閲
- 第19号: ラジオと心理戦 / 占領期の地方雑誌
/ 日中戦争をめぐる報道と宣伝
- 第20号: 検閲からプランゲ文庫へ / 貫戦期のヴィジュアル・メディア
/ 中国大陸でのメディアと宣伝